

シクリスムエコーNo.97 2003年4・5月号

平成15年度事業計画	2
新役員の紹介	4
会長就任のあいさつ / 専門委員会の構成について	5
第28回チャレンジサイクルロードレース	6
平成14年度全国高等学校選抜自転車競技大会	8
2003JOCジュニアオリンピックカップ	10
2003トラック・ワールドカップ第2戦・第3戦	12

第50回全日本プロ選手権トラックレース	14
JCFニュース / UCIニュース	15
第3回全日本実業団トラック記録会	16
競技大会結果	17
2003マウンテンバイク・ジャパンシリーズ開幕	18
ACCトラックアジアカップ2003延期のお知らせ	19
第1級公認審判員の承認 / トラック・ロード強化合宿	19



平成15年度事業計画

財団法人 日本自転車競技連盟

方針

事業計画概要

不安と混迷、先の見えない不況の中、我々は英知を絞り努力を惜まず、今年度を乗り切らなければならない。まず、財源確保が難しく、事業の統廃合、合理化等、真剣に真摯に考えざるを得ない時期がすでに到来している事を再認識し、具体的施策を講じざるを得ない。

しかし、何が何でも新しくする事が改革に繋がらない。時代がどう変われども、何時の世にも変わる事のない普遍的真理が存在する。その点を一人一人がよく見極めて行動し、業界の繁栄と連盟の発展、そして登録者のサービスの向上に尽力すべきが大きな課題となる。

今年度各部課の事業の推進は下記の通りである。

〔総務部〕

経済不況が、本連盟事業にも確実に影響を及ぼし、財源の確保が非常に厳しくなっている。

そこで、さらなる自主財源の確保や事業の整理統合等を含めた合理化が急務の問題となっている。

〔業務部〕

近年、スポーツ界全体の問題として少子高齢化、スポーツ離れが顕著になっている。

その対策のひとつとして環境整備が急がれるが、関係者だけの大会でなく一般の方も楽しめる、見せる大会にすることによって自転車競技への理解を深めることに繋がる。本年度は3つのアジア地域大会の国内開催も予定されており、格好のチャンスとなる。

また、本年度から登録の効率化に向けて研究、開発された新登録システムが、登録競技者への円滑なライセンス発行に向け、本格的に稼働する。

さらに審判、指導資格の取得者の活動環境の整備も促進し自転車競技の向上を図る。

〔選手強化部〕

アテネオリンピックの前年である2003年は、我が国自転車競技界の将来をも問う、きわめて重要な一年となる。

このため、選手強化においては、「アテネでのメダル獲得」を最大目標とし、総花的な選手強化を避け、特に「トラック短距離」を主眼として、ナショナルチーム、特別育成チームを主体に国際レベルでの選手強化に努める。

具体的には、ワールドカップ、世界選手権大会等すべての国際大会に選手派遣を行う他、選手個々が集中して競技力向上に取り組める環境作りに配慮するとともに、これをサポートする強化コーチ、医科学委員、強化スタッフ等の綿密な連携を図り、機能的なサポート体制を確立する。

また、中距離においても世界レベルに近づいたことから、更に高い目標を掲げ、強化内容を明確化し、併せ長距離についても強化推進に努める。

〔国際事業推進室〕

スポーツ団体の将来を考えると、国際化は重要なテーマである。

国内外における国際的事業推進において地勢的な条件が障壁となるのはもちろんであるが、通信手段の発達した現在においては言語における障壁を低くすることが重要である。このためには、外国語に精通した者を登用していくことと、諸文書を日本人と外国人が相互に理解できる形にすることが重要であろう。また、日本の競技者が国際的に活躍するための基盤として、国内諸制度を国際的制度と整合化し、競技者や審判、コーチなどのための支援体制を整備していくことも重要である。

上記のことを踏まえて、国際事業推進室は、本連盟諸事業の場において、人材の発掘/養成/登用、資料/文書の2ヶ国語(日本語・英語)化、国内外の情報の収集、対外(国内外)的な情報の蓄積及び公開、そしてこれらのための事務局内での情報の共有化及び事務局整備を推進する。そして、これらの円滑な推進のため、関係者/団体との良好で緊密な協力関係を育成していく。

以上が本年度の事業計画の方針及び概要であるが、実施事業については以下のとおりである。

実施事業

1 自転車競技国内競技大会関係事業

次の主要大会は、担当専門委員会において実施要項を作成し、適切な大会運営を図り、自転車競技の啓蒙普及及び競技者、審判員の技術の向上に資するものである。

- ①ジャパンカップロードレース大会
- ②全日本自転車競技選手権大会
- ③その他国内大会

2 国内での国際競技大会事業

MTBアジア選手権大会支援

3 国際競技大会関係事業

世界選手権大会、ワールドカップ等の国際大会に日本代表選手団を派遣する。また、UCI等国際機関の会議に参画し、国際情勢を的確に把握する。国際審判員等を諸外国へ派遣し、高度な理論及び技術の習得を行うとともに積極的な国際交流を図る。

- ①世界選手権自転車競技大会(種目別)選手派遣
- ②世界選手権B大会派遣
- ③アジア自転車競技選手権大会選手派遣
- ④国際大会選手派遣
- ⑤2003年国際グランプリケイリン選手派遣
- ⑥国際会議への派遣
- ⑦国際審判員の派遣
- ⑧外国自転車競技関係者の招聘
- ⑨ACCトラックアジアカップ大会の開催及び派遣

4 加盟団体関係事業

加盟団体が実施する事業が、自転車競技の啓蒙普及及び競技者、審判員の技術の向上を図るうえからも円滑に運営できるように支援するものである。

(1) 都道府県連盟関連事業

- ①全国地域別道路競走大会(8地域)
- ②全国地域別トラックレース大会(8地域)
- ③全国都道府県別自転車競技選手権大会(47都道府県)

(2) 日本プロフェッショナルサイクリスト協会関連事業

- ①全日本プロフェッショナル自転車競技選手権大会
- ②全国地区別プロフェッショナル自転車競技選手権大会

③プロサイクリスト強化事業他
(3)全国高等学校体育連盟自転車競技
専門部関連事業

- ①全国高等学校選抜自転車競技大会
(トラック、ロード)
②全国高等学校自転車競技合宿
③全国高等学校指導者養成講習会
(4)日本学生自転車競技連盟関連事業
①全日本大学対抗選手権自転車競技大会
②全日本学生選手権自転車競技大会
(トラック、ロード、チームロード)
③東西地域別自転車競技大会他
(5)全日本実業団自転車競技連盟関連
事業
①全日本実業団対抗サイクルロード
レース大会
②全日本実業団自転車競技選手権大会
③東西地域別実業団ロードレース大会
他

5 アンチドーピングの推進事業

国内全日本大会クラス実施

6 強化・普及事業

ナショナルチーム、特別育成チーム
を中心に、アテネオリンピックを目標
にした選手強化体制を基本に、国際大
会で表彰台に立てる選手を育成すべく
選手強化に努める。特に、ワールドカ
ップ、世界選への選手団の派遣につい

は、アテネオリンピックの資格獲りに
繋がる重要な大会であり、万全の体制
でこれに臨む考えである。

また、次代を担う選手に対しては、一
貫指導体制の下強化を図り、積極的に
国内外の競技大会に派遣し、世界に通
用する選手の育成に努める。

さらに自転車競技者の拡大及び競技大
会への参加者の増加を図るため、自転
車界に限らず広い範囲において競技情
報の提供を行い、普及事業を展開する。
併せて、全国各地より選手を一同に集
め、優秀な人材発掘を目的としたチャ
レンジ・ザ・オリンピック等の実施・支
援を行う。

- (1)選手強化訓練事業
(2)全国自転車競技指導担当者研修会・
審判講習会
(3)自転車競技の普及・広報事業
(4)ケイリン種目普及指導事業
(5)機関誌発行事業
(6)チャレンジ・サイクル・ロードレース大会

7 調査研究事業

国内競技大会の規則を整備すると共
に、ランキングを始めとする、競技情報
の管理システムを構築し、競技大会の
今日的な在り方を研究する。

また、国際自転車競技連合(UCI)に

係わる情報の収集及び諸外国の実状
を分析・検討し、国際的な諸制度に合致
するよう競技環境の整備方法等を研
究する。

- (1)国内競技大会に関する研究
(2)国際競技における制度等に関する
調査研究
(3)選手強化等に関する調査研究
(4)新登録システムの整備・改修

共催事業の実施

関係支援団体と共にロードレースの
開催を通して我が国における自転車競
技の啓発及び健全なる国民生活の向上
を図り、もって体育文化の発展に寄与
するものである。

- (1)ツアー・オブ・ジャパン
(自転車月間推進協議会・朝日新聞社)
(2)ツール・ド・おきなわ
(ツール・ド・おきなわ協会)
(3)ツール・ド・北海道
(「財」ツール・ド・北海道協会)
(4)ツール・ド・とうほく
(同組織委員会・「財」河北文化事業団)
(5)ツール・ド・紀伊
(3DAY ROAD熊野実行委員会)
(6)シマノ鈴鹿国際ロードレース大会
(「株」シマノ)

収支予算書総括表

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	日本体育協会 補助事業 特別会計	国際競技力 向上事業 特別会計	オリンピッ ック キャンペーン事業 特別会計	日本自転車振興会 公益補助事業 特別会計
Ⅰ. 収入の部						
基本財産運用収入	150,000	150,000	0	0	0	0
会費収入	21,000,000	21,000,000	0	0	0	0
事業収入	575,558,000	14,500,000	0	0	0	561,058,000
補助金等収入	82,907,000	58,550,000	8,696,000	7,578,000	3,200,000	4,883,000
ワールド・北海道免税募金交付金収入	22,000,000	22,000,000	0	0	0	0
負担金収入	8,639,000	4,850,000	0	3,789,000	0	0
寄付金収入	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0
雑収入	2,166,000	2,150,000	2,000	10,000	4,000	0
繰入金収入	1,600,000	0	0	0	0	1,600,000
当期収入合計	715,020,000	124,200,000	8,698,000	11,377,000	3,204,000	567,541,000
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0
収入合計	715,020,000	124,200,000	8,698,000	11,377,000	3,204,000	567,541,000
Ⅱ. 支出の部						
事業費	41,635,000	41,635,000	0	0	0	0
ワールド・北海道免税募金交付金支出	22,000,000	22,000,000	0	0	0	0
管理費	54,065,000	54,065,000	0	0	0	0
日本体育協会補助事業費	8,698,000	0	8,698,000	0	0	0
国際競技力向上事業費	11,377,000	0	0	11,377,000	0	0
オリンピックキャンペーン事業費	3,204,000	0	0	0	3,204,000	0
日本自転車振興会補助事業費	567,541,000	0	0	0	0	567,541,000
特定預金支出	3,900,000	3,900,000	0	0	0	0
繰入金支出	1,600,000	1,600,000	0	0	0	0
予備費	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0
当期支出合計	715,020,000	124,200,000	8,698,000	11,377,000	3,204,000	567,541,000
当期収支差額	0	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0

(財)日本自転車競技連盟 新役員の紹介



①顧問 ②内村 俊一
③1934.8.13 ④東京都
⑤(財)自転車産業振興協会



①顧問 ②杉原 鏘一郎
③1929.7.3 ④東京都



①会長 ②岩楯 昭一
③1942.3.23 ④東京都
⑤(社)日本競輪選手会



①副会長 ②岡本 雄作
③1935.2.22 ④神奈川県
⑤日本ゴンドラ(株)



①副会長 ②鈴木 孝幸
③1943.12.14 ④東京都
⑤(社)日本競輪選手会



①常務理事 ②穴田 勝彦
③1939.9.2 ④東京都
⑤(社)日本競輪選手会



①常務理事 ②岡田 行雄
③1947.2.26 ④鳥取県
⑤鳥取湖陵高等学校



①常務理事 ②加藤 昭
③1943.3.7 ④千葉県
⑤日本舗道(株)



①常務理事 ②鈴木 久雄
③1933.4.30 ④神奈川県
⑤(財)日本自転車競技連盟



①常務理事 ②中村 義行
③1943.10.8 ④東京都
⑤日本自転車振興会



①理事 ②市川 孝雄
③1939.4.13 ④東京都
⑤関東自転車競技会



①理事 ②大島 研一
③1946.1.17 ④栃木県



①理事 ②大橋 勲
③1941.9.24 ④富山県



①理事 ②奥田 悦司
③1948.6.12 ④大阪府
⑤ナショナル自転車工業(株)



①理事 ②高橋 耕作
③1944.7.25 ④東京都
⑤(株)大秀



①理事 ②中西 泰三
③1941.11.25 ④徳島県
⑤(有)ナカニシサイクル



①理事 ②中原 曙観
③1944.12.12 ④熊本県



①理事 ②村井 武治
③1940.12.28 ④青森県



①理事 ②森 兵次
③1941.4.8 ④沖縄県
⑤沖縄輪業(株)



①理事 ②山口 清孝
③1947.4.16 ④石川県
⑤金沢高等学校



①理事 ②山口 秀雄
③1952.12.23 ④埼玉県
⑤埼玉県立鳩山高等学校



①理事 ②大和 孝義
③1950.2.14 ④東京都
⑤(社)日本競輪選手会



①監事 ②林 辰夫
③1952.4.12 ④大阪府
⑤(株)穂産業



①監事 ②松尾 嘉之輔
③1955.2.12 ④神奈川県
⑤花月園観光(株)



①参与 ②亀田 博文
③1931.3.7 ④埼玉県

[紹介内容] ①役職 ②氏名 ③生年月日 ④住所 ⑤勤務先(敬称略・順不同)

会長就任のあいさつ



財団法人 日本自転車競技連盟
会長 岩 楯 昭 一

平成15年3月27日に開催されました本連盟評議員会において役員改選の結果、引き続き第五期の会長に就任することになりました。

本連盟はアマ、プロが一体となり平成7年に発足し、日本の自転車競技界を統括する団体として発展に努めてまいりました。

今年度は2004年アテネオリンピック出場枠獲得のため更に選手強化を図り、皆様のご期待に添えますよう頑張る所存です。

また、自転車競技界を取り巻く経済状況は一段と厳しさを増しており、運営財源の確保は急務であると考えております。

なお、事業の統廃合及び各種専門委員会の整備については、効率化を旨として積極的に推進する所存であります。

つきましては、関係各位の皆様の自転車競技への一層のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。会長の挨拶とさせていただきます。

平成15年度専門委員会の構成について

[選手強化本部]

本部長 岩楯 昭一
副本部長 岡本 雄作・鈴木 孝幸
本部長 穴田 勝彦・岡田 行雄・加藤 昭・中村 義行・鈴木 久雄

[専門委員会]

総務委員会（運営、財務、渉外）

委員長 鈴木 久雄
委員 高橋 耕作・森 兵次・山口 秀雄

競技運営委員会（普及を含む）

委員長 岡田 行雄
委員 大島 研一・奥田 悦司・大橋 勲

広報委員会

委員長 加藤 昭
委員 中西 泰三・村井 武治

アンチドーピング委員会

委員長 中村 義行
委員 市川 孝雄・青木純一郎・新津谷真人

選手強化委員会（国際を含む）

委員長 穴田 勝彦
委員 大和 孝義・山口 清孝・中原 曙観

第28回チャレンジサイクルロードレース



A-Eの先頭集団

A-E優勝の田中光輝



飯島を追う田中(右:1位)真鍋(左:2位)



A-E最終周、逃げる飯島(3位)



優勝の土井が引っ張るA-U先頭集団



最終周回のA-J先頭集団



A-Fの勝者、唐見

A-U (40km)

- 1 土井 雪広 山形 法政大学 1:08:37.734
- 2 西谷 泰治 愛知 愛三工業 1:09:21.025
- 3 鈴木 謙一 静岡 法政大学 1:09:21.558
- 4 松村 光浩 和歌山 日本大学 1:09:28.799
- 5 内山 靖樹 神奈川 宮田工業 1:09:31.820
- 6 岩本竜太郎 広島 京都産大 1:09:31.870
- 7 山本 敬純 大阪 立命館大 1:09:32.688
- 8 辻 善光 京都 立命館大 1:09:41.115
- 9 大野 涼太 青森 中央大学 1:09:41.249
- 10 三浦 勇一 京都 中京大学 1:10:41.534

A-J (40km)

- 1 渡辺 将大 群馬 前橋育英 1:10:04.171
- 2 畑中 勇介 東京 昭和第一 1:10:04.193
- 3 立里 匡道 山形 明治大学 1:10:04.254



- 4 片山 和正 岡山 岡山工高 1:10:04.341
- 5 長沼 隆行 埼玉 小松原高 1:10:04.353
- 6 長 義幸 和歌山 田辺高校 1:10:04.365
- 7 島田 真琴 東京 八王子工 1:10:04.411
- 8 石井 陽 京都 花園高校 1:10:08.682
- 9 飯塚 航 群馬 前橋育英 1:10:25.562
- 10 身崎 琢磨 学連・宮城 早稲田大 1:11:41.617

A-M (35km)

- 1 渥美 守弘 静岡 吉田機工 1:01:26.489
- 2 小泉 操 埼玉 沓ヶ-デン 1:01:26.538
- 3 高梨真幸人 東京 音羽 1:03:39.390



- 4 大野二美雄 東京 大野写真 1:03:45.620
- 5 野崎 鉄雄 東京 衾ス 1:03:46.262
- 6 庄司 真陸 千葉 東京電力 1:03:46.492
- 7 高橋 秀樹 静岡 ヤマハ 1:03:47.027
- 8 森下 繁 大阪 ヤマハ 1:03:47.324
- 9 横田 光史 茨城 原子力研 1:06:38.427
- 10 仲澤 俊 千葉 ムジカショップ 1:06:42.422

A-F (20km)

- 1 唐見実世子 石川 BikeSystem 38:48.193
- 2 高橋いづみ 東京 40:04.224
- 3 村中恵美子 東京 第一製薬 40:19.664
- 4 西 加南子 千葉 スミタハ 和 41:28.032
- 5 中村 珠藻 奈良 順天堂大学 41:54.783
- 6 真下 正美 神奈川 SY-NAK 42:22.133
- 7 中込由香里 長野 SY-NAK 42:25.165
- 8 坂田 佳子 兵庫 八木保育園 42:42.725
- 9 岡野 尚美 静岡 NECフ-ルイカ 43:01.105
- 10 石井 麻美 東京 43:13.196

[競技結果]

(4/6 日本CSC・5kmサ-キット)

A-E (60km)

- 1 田中 光輝 愛知 愛三工業 1:41:56.967
- 2 真鍋 和幸 JPCA 宮田工業 1:42:05.095
- 3 飯島 誠 JPCA 高村製作所 1:42:07.085

- 4 中川康二郎 茨城 スパ-K 1:42:08.248
- 5 日置 大介 兵庫 1:42:09.157
- 6 鈴木 雷太 長野 プリ-スト 1:42:12.243
- 7 西谷 雅史 東京 1:42:12.464
- 8 江本 泰輔 東京 1:42:14.682
- 9 二戸 康寛 東京 なるしま 1:42:17.380
- 10 流郷 克哉 東京 1-キャ 1:42:35.956

平成14年度全国高等学校選抜自転車競技大会

(トラック:山梨・境川競技場 ロード:静岡・日本CSC)

昨年同様、山梨県境川自転車競技場にてトラック競技、静岡県日本CSCにてロードレースが行われた。

【1kmタイムトライアル】

穏やかな天候の中、決勝が行われた。出走順によるコンディションの変化もなく結果については、今現在の仕上がりが状態といったところか。優勝は唯一10秒を切った松田優一(茨城:取手第一



1kmTT
優勝の松田

2年) 2位には地元の古屋(山梨:甲府工2年) 3位には中川(千葉:京葉工)が1年生で入賞した。専門的なトレーニングに入る前のこの時期に大会が開催されるため、記録的には低調であったが、同種目出場の選手がどこまで記録を上げて来るのが今シーズンの楽しみである。

【3km個人追抜競走】

石川雅望(群馬:前橋工)が1年生ながら、恵まれた体格を生かしてスタートより終始リードを保ち、決勝を押し切っ

3km個人追抜 優勝の石川



た。2位には太田(京都:花園2年) 3位には順位決定戦を制した是永(福岡:豊国2年)が入賞した。早朝からのレースということもあり記録的には今一つであったが、今後の活躍に期待したい。

【スプリント】

大本命の北津留翼(福岡:豊国学園2年)が期待通り優勝し、今大会2連覇を飾った。2位は競技規則違反で空位、3位には寺田(大分:別府商2年)が入賞した。北津留はこの種目ジュニアレベルでは連勝中であり、今後の更なる活躍を期待したい。



スプリント優勝の北津留(右)

ポイントレース優勝の西村(左)



1着ゴールした西村が22点で優勝。2位竹山13点、3位には同点で村上(山形:山形電波2年)が入賞した。

【ケイリン】

1回戦では落車が目立ったが、2回戦以降は事故もなく好レースが展開された。山側から吹くBS追い風によって2Cからまくるレースが多かったが、決

【ポイントレース】

最終のポイントを残して1~3位の得点差は6点。G着順の結果次第では得点上位3名に逆転の可能性も残されており、緊迫したレースであった。逃げる旗手(大分:別府商2年)と着順次第では優勝のある竹山(宮城:東北2年)その2名の選手を猛追する西村光太(三重:三重2年)というレース展開で最終周回を迎えた。G前で先行する2名の選手が接触落車、それを追っていた西村もこれに乗り上げ落車するという大波乱のゴールであったが、落車しながらそのまま

勝では柴崎(三重:朝明1年)が堂々の先行策をとる。2C手前から坂本亮馬(福岡:久工大附2年)がまくるが、柴崎が番手にはまり、4Cより追い込んで優勝。坂本は1回戦より3連勝、2位には先行の柴崎、3位には榎山(福岡:豊国学園1年)が入賞した。

【エリミネーション・レース】

エリミネーション
1位の神山(右)、2位の田中(左)



前半で落車があったがその後は順調に周回を重ねた。レース後半より好位置をキープしていた神山拓弥(栃木:作新学院1年)が最終回にスパート、BSより田中(福岡:久工大附2年)が追い上げるが及ばず2位。3位には網谷(香川:高松工芸1年)が入賞した。1年生の活躍が目立った決勝であった。

【500mタイムトライアル】

出走する全ての選手がHSよりスタート。風もほとんどなくコンディションには恵まれた。絶対的な選手が不在の中、唯一40秒を切るタイムで岡田由佳子(愛知:桜丘2年)が39秒931



500TT
優勝の岡田

で優勝。2位岡(群馬:前橋育英1年)3位埋田(大分:別府商業2年)と続いた。

【2km個人追抜競走】

最終周回で約1秒リードの昨年度優勝の永田萌子(大分:別府商業2年)を、萩原(群馬:伊勢崎女子1年)が追い込む展開であった。結果0.38秒及ばず永田が逃げ切り、この種目2連覇達成を達成した。惜しくも2位であった萩原も1年生であり、今後が大いに期待できる選手である。3位には宮崎(大分:別府商2年)が入賞した。

2km個人追抜優勝の永田



【ロードレース:男子】

昨年と同様に会場を日本CSCへ移して、逆回り8周40kmのロードレースであった。天候にも恵まれ前半から動きが多かった。前半に3名の選手がエスケープを試みたが吸収され、7周目後半から2名の選手が飛び出しレースが動いたが、最終回に入ったところで1名が遅れ、長沼(埼玉:小松原2年)が独走状態となる。追走集団の牽制をよそに渾身の力

を込めて逃げの体制を固める。

その中から畑中勇介(東京:昭和第一2年)が単独で飛び出し長沼を追走する。最後の登り終了時点(2番頂上)でその差は6秒でありこのまま長沼の逃げ切りかと思われたが、下りで畑中が猛追を見せ、残り100mで長沼を捕らえ、ゴール前は冷静に追い込んで優勝した。

惜しくも2位だった長沼はレース前半に自転車トラブルで遅れていたため、集団復帰の際に足を使ったのが最後に響いた。昨年この種目優勝の西村(三重:三重2年)は、昨日のポイントレース(優勝)のゴール前の落車の影響もあったのか精彩を欠いていた。(154名出走中完走64名)

【ロードレース:女子】

前日の2km個人追抜の雪辱を晴らし、萩原麻由子(群馬:伊勢崎女子1年)が優勝を飾った。2位には昨年優勝の永田(大分:別府商業2年)、3位には宮崎(大分:別府商業2年)と入賞した。昨年のレースタイムを5分以上短縮し、女子のロードが始まってから初の40分台であった。

【学校対抗】

男子の優勝は福岡:豊国学園21点、2位福岡:久工大附属16点と福岡勢の圧勝で幕を閉じた。女子は昨年同様、大分:別府商業が優勝した。

【まとめ】

記録的にはやや低調であったが、大きな事故もなく成功裏に大会を終了することができた。山梨県をはじめ関係各位のご協力に心から感謝申し上げます。(総務委員 中田 将次)



男子ロードレースのスタート

競技結果は次ページ参照

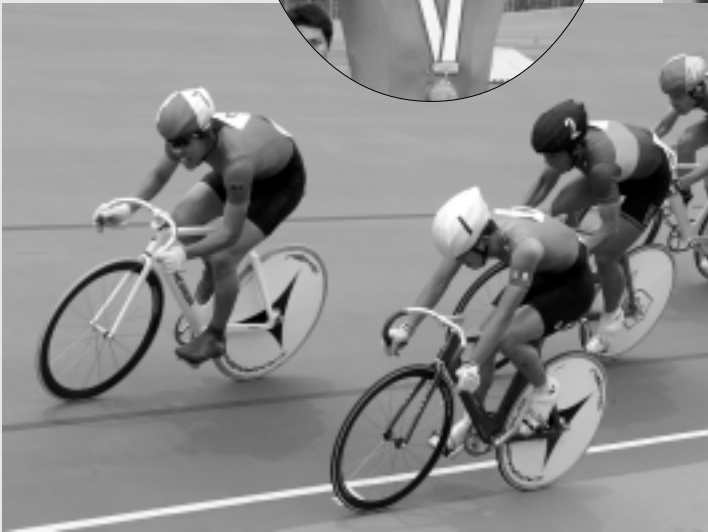
2003 JOC ジュニアオリンピックカップ

5月3～4日、山梨県境川競技場において2003 JOC ジュニアオリンピックカップが行われた。

ポイントレースを優勝し、ジュニアオリンピックカップを受賞した西村(下写真①)



個人追抜を優勝し、女子ジュニアオリンピックカップを受賞した萩原



[競技結果] 前ページより

男子1kmタイムトライアル

- 1 松田 優一 茨城 取手第一高 1:09.040
- 2 古屋 琢晶 山梨 甲府工業高 1:10.460
- 3 中川 慶一 千葉 京葉工業高 1:10.869
- 4 中村 健志 熊本 九州学院高 1:10.900
- 5 菅田 壹道 宮城 仙台商業高 1:10.970
- 6 金澤 竜二 福島 学法石川高 1:11.235

男子スプリント

- 1 北都留 翼 福岡 豊国学園高校
- 2 -
- 3 寺田 信彦 大分 別府商業高校
- 4 新田 祐大 福島 白河高校
- 5 高橋 紀史 秋田 六郷高校
- 6 富田 洋介 鹿児島 鹿児島実業高校

男子ケリソ

- 1 坂本 亮馬 福岡 久留米工大附属高校
- 2 柴崎 淳 三重 朝明高校
- 3 櫻山 恭柄 福岡 豊国学園高校
- 4 杉田 宣講 茨城 取手第一高校
- 5 寺田 紘也 群馬 前橋育英高校
- 6 北村 信明 徳島 徳島商業高校

男子3km個人追抜競走

- 1 石川 雅望 群馬 前橋工業高 3:52.494
- 2 太田 貴明 京都 花園高校 3:55.910
- 3 是永 幸寛 福岡 豊国学園高 3:51.025
- 4 根本 哲史 秋田 大曲農業高 3:54.085
- 5 長江 寿也 青森 八戸工業高 3:51.908
- 6 小豆畑郁也 福島 学法石川高 3:52.489

男子エリミネーション

- 1 神山 拓弥 栃木 作新学院高等部
- 2 田中 宏城 福岡 久留米工大附属高校
- 3 網谷 竜次 香川 高松工芸高校
- 4 佐々木 亮 宮城 古川工業高校
- 5 高橋 義秋 大分 日出陽谷高校
- 6 夏堀 宏司 青森 八戸工業高校

男子ポイントレース

- 1 西村 光太 三重 三重高校 22 p
- 2 竹山 陵太 宮城 東北高校 13 p
- 3 村上 純平 山形 山形電波高校 13 p
- 4 前田 雅則 和歌山 和歌山北高校 10 p
- 5 鷺田 幸司 福井 春江工業高校 10 p
- 6 長田 彰人 宮城 仙台商業高校 9 p

女子500mタイムトライアル

- 1 岡田由佳子 愛知 桜丘高校 39.931
- 2 岡 希美 群馬 前橋育英高校 40.050
- 3 埋田 麻衣 大分 別府商業高校 40.517
- 4 花山 千宏 宮城 古川工業高校 40.762
- 5 佐藤 美香 大分 別府商業高校 41.341
- 6 石井 寛子 埼玉 杉戸農業高校 41.558

女子2km個人追抜競走

- 1 永田 萌子 大分 別府商業高 2:51.156
- 2 萩原麻由子 群馬 伊勢崎女子 2:51.536
- 3 宮崎 杏菜 大分 別府商業高 2:52.243
- 4 小淵 千恵 群馬 伊勢崎女子 2:56.765
- 5 森 智恵美 京都 北桑田高校 3:03.178
- 6 高倉 実希 岩手 伊保内高校 3:04.375

男子個人ロードレース(40km)

- 1 畑中 勇介 東京 昭和一 1:09:01.91
- 2 長沼 隆行 埼玉 小松原高 1:09:02.12
- 3 島田 真琴 東京 八王子工 1:09:53.20
- 4 西村 光太 三重 三重高校 1:09:53.36
- 5 渡辺 将大 群馬 前橋育英 1:09:54.48
- 6 長 義幸 和歌山 田辺高校 1:09:56.24
- 7 長江 寿也 青森 八戸工高 1:09:56.57
- 8 村上 純平 山形 山形電波 1:09:56.59
- 9 石井 陽 京都 花園高校 1:09:57.07
- 10 吉成 晃一 熊本 開新高校 1:10:01.45

女子個人ロードレース(20km)

- 1 萩原麻由子 群馬 伊勢崎女子 40:21.96
- 2 永田 萌子 大分 別府商業高 40:30.03
- 3 宮崎 杏菜 大分 別府商業高 40:31.22
- 4 仲 江美 埼玉 鳩山高校 43:57.03
- 5 佐藤 美香 大分 別府商業高 44:58.47
- 6 岡田 未来 京都 北桑田高校 45:02.90
- 7 菊池日出子 福島 白河高校 45:03.05
- 8 森 智恵美 京都 北桑田高校 45:13.92
- 9 岡田由佳子 愛知 桜丘高校 46:14.12
- 10 石井 寛子 埼玉 杉戸農業高 46:29.29

学校対抗得点(男子)

- 1 豊国学園高校 福岡 21 p
- 2 久留米工業大学附属高校 福岡 16 p

学校対抗得点(女子)

- 1 別府商業高校 大分 36 p



女子スプリント1位の埋田(左)と2位の石井



個人追抜優勝の金澤

1kmTT優勝の新田



500mTT優勝の岡田

高校選抜に続きスプリント優勝の北津留



[競技結果]

男子1kmタイムトライアル

- 1 新田 祐大 福島 白河高校 1:07.607
- 2 菅田 壱道 宮城 仙台商業高 1:08.373
- 3 松田 優一 茨城 取手第一高 1:08.690
- 4 早坂 秀悟 宮城 仙台商業高 1:08.711
- 5 北津留 翼 福岡 豊国学園高 1:09.080
- 6 佐野 雄希 愛知 愛工大名電 1:09.252

男子スプリント

- 1 北津留 翼 福岡 豊国学園高校
- 2 笹倉 慎也 富山 水橋高校
- 3 吉松 賢二 群馬 前橋工業高校
- 4 寺田 信彦 大分 別府商業高校
- 5 河端 朋之 鳥取 倉吉工業高校・教
- 6 佐野 雄希 愛知 愛工大名電高校

男子個人追抜競走

- 1 金澤 竜二 福島 学法石川高 3:44.351
- 2 石川 雅望 群馬 前橋工業高 3:45.254

- 3 青木 康貴 岐阜 日本大学 3:44.873
- 4 小豆畑郁也 福島 学法石川高 3:50.225
- 5 西村 光太 三重 三重高校 3:48.133
- 6 長江 寿也 青森 八戸工業高 3:49.525

男子ポイントレース

- 1 西村 光太 三重 三重高校 14 p
- 2 竹山 陵太 宮城 東北高校 13 p
- 3 片山 和正 岡山 岡山工業高校 11 p
- 4 島田 真琴 東京 八王子工業高校 10 p
- 5 西久保博之 埼玉 川越工業高校 10 p
- 6 宮原 哲弥 福岡 久工大附属高校 10 p

女子500mタイムトライアル

- 1 岡田由佳子 愛知 桜丘高校 39.907
- 2 埋田 麻衣 大分 別府商業高校 39.997
- 3 花山 千宏 宮城 古川工業高校 40.247
- 4 萩原麻由子 群馬 伊勢崎女子高 40.343
- 5 佐藤 美香 大分 別府商業高校 41.001

- 6 宮崎 杏菜 大分 別府商業高校 41.062

女子スプリント

- 1 埋田 麻衣 大分 別府商業高校
- 2 石井 寛子 埼玉 杉戸農業高校
- 3 佐藤 美香 大分 別府商業高校
- 4 庄野 友香 神奈川 向上高校

女子個人追抜競走

- 1 萩原麻由子 群馬 伊勢崎女子 2:43.153
- 2 永田 萌子 大分 別府商業高 2:43.321
- 3 松尾 亜美 大分 第一福祉大 2:48.709
- 4 宮崎 杏菜 大分 別府商業高 2:49.316
- 5 小淵 千恵 群馬 伊勢崎女子 2:53.926
- 6 高倉 実希 岩手 伊保内高校 3:00.079

JOCシニアリトルツカガツ受賞者

- 男子 西村 光太 三重 三重高校
 女子 萩原麻由子 群馬 伊勢崎女子高校

2003トラック・ワールドカップ第2戦 メキシコ大会



男子ケイリン金メダルの矢口啓一郎

40分というハードな時間の中、決勝も1着でゴールを駆け抜けてくれた。ゴールした瞬間、もう何ともいえない喜びと、表彰式で君が代を聞いたときは感無量であった。

他にもスプリントの北津留翼は、予選は通過しなかったものの自己ベストを出してくれたし、ポイントの飯島 誠、スクラッチの飯島規之も全力を出し切るレースをしてくれた。女性での日本代表の太刀川麻也も世界の壁を乗り越えるまであと一步、今後の活躍に期待したい。

最終日の日本のお

家芸、オリンピックスプリントは日本のエース井上昌己が体調を崩していた為一番手、北津留、矢口と全力を尽くしてくれたが6位と予選通過はならなかったが、調整さえうまくいってればもっと上位を狙えたに違いない。

このワールドカップに参加して一番感じたことはチームワークの良さ、そしてスタッフの裏方で頑張りがあってこそ良い結果になったと思う。選手の皆さん、感動ありがとう。また、班目

監督、ゲーリーコーチ、森さん、柳さん 本当にお疲れ様でした。(佐々木昭彦)

[競技結果]

男子1kmタイムトライアル

1	STAFF Jamie	GBR	1:02.377
2	LAUSBERG Soren	GER	1:03.137
3	MENESES Wilson	COL	1:04.362
9	矢口啓一郎	JPN	1:05.244

男子スプリント

1	FRENCH Mark	AUS	
2	STAFF Jamie	GBR	
3	DUBLE Arnaud	FRA	
	北津留 翼		10秒632予選敗退

男子ケイリン

1	矢口啓一郎	JPN	
2	VAN EIJDEN Jan	GER	
3	JERABEK Jarosiav	SVK	

男子15kmスクラッチ

1	ALZAMORA Miguel	ESP	Up 2 Laps
2	MARVULLI Franco	SUI	
3	PEREZ Walter Fernando	ARG	
11	飯島 規之	JPN	Up 1 Lap

男子ポイントレース

1	DUQUE Leonardo	COL	88 p
2	CURUCHET Juan	ARG	81 p
3	NEWTON Chris	GBR	55 p
9	飯島 誠	JPN	26 p

女子500mタイムトライアル

1	TSILINSKAYA Natalia	BLR	34.254
2	CONTRERAS Nancy	MEX	34.516
3	LINDENMUTH Tanya	USA	34.667
14	太刀川麻也	JPN	36.218

女子スプリント

1	TSILINSKAYA Natalia	BLR	
2	LINDENMUTH Tanya	USA	
3	CONTRERAS Nancy	MEX	
	太刀川麻也		11秒930予選16位敗退



今年の1月、日本競輪選手会からワールドカップのコーチとしての要請があった。

1977年世界ジュニア選手権、1993年世界選手権と選手としての経験があったもののコーチとしては初めてで、日本の裏側にある遠いメキシコ、そして、アメリカとイラクとの戦争という中、正直不安な気持ちで一杯だった。

3月16日の小倉ナイター競輪も無事走り終え、17日成田発メキシコ行きの飛行機に乗った。途中バンクーバー、メキシコシティを經由し大会会場であるアグアスカリエンテスに着いたのは夜中の12時ごろだった。本当に疲れた中、監督の班目さん、メカニックの森さん、マッサージの柳さんらがお腹をすかした選手たちに町まで歩いて買出しに行ってくれたタコス、私もいただいたが本当に美味しく疲れが一気に吹っ飛んだ感じと感謝の気持ちで一杯だった。

大会初日、矢口啓一郎が初参加にかかわらず、ケイリン予選を1着でゴールした時は、スタッフ一同飛び上がって喜んだ。しかし、矢口の勢いは止まらず、準決勝も1着、その後、1kmTT決勝後

2003トラックワールドカップ第4戦代表選手団

大会期間	平成 15 年 5 月 16 日 ~ 18 日
派遣期間	平成 15 年 5 月 13 日 ~ 19 日
開催場所	オーストラリア・シドニー
参加選手	伏見 俊昭 (JPCA)・長塚 智広 (JPCA) 永井 清史 (JPCA)・飯島 規之 (JPCA) 大菅小百合 (長野)
監督	ゲーリー・ウエスト (JCF チームマネジャー)
コーチ	班目 秀雄 (JCF ヘッドコーチ)
メカニック	鬼原 積 (JCF スタッフ)
マッサージャー	柳 浩史 (JCF スタッフ)
通訳	増田恵美子 (JCF スタッフ)
JPCA コーチ	今岡 敏彦 (JPCA 強化コーチ)

2003トラック・ワールドカップ第3戦 南アフリカ大会



した。幸い骨には異常なしという事でほっとしましたが、帰りは一人車椅子の帰国になってしまいました。

レーサーシューズを入れたスーツケースの件で出遅れてしまった井上は、9位。

ケープタウンは、遠かった。移動の時間が待ち時間を入れておよそ31時間。一日以上です。現地に着いた時は、ぐったりでした。パッケージクレームでは、井上のスーツケース、ギヤボックスが見当たらず、パタパタしましたが、レースまでには何とか、中川のケイリンからワールドカップスタートです。競技場は、屋内の250m、コンクリートバンクでした。こじんまりした感じで日本でいったら市民体育館といったところです。競技場もレースも日本とは、まるで違うケイリンでは、力を出し切れず、勝ち上がりませんでした。

飯島 誠は、落車転倒してしまいしばらく起き上がれない状態だった時は、ピリピリした雰囲気になってしまい

スプリントの金子、矢口は、予選クリア。矢口は、まったく不慣れな競技にギブアップ状態でしたが、金子は外人選手相手に堂々とした戦いぶりで、スタンドを沸かせていました。

チームスプリントは、予選3位通過で、メダルを期待したんですが、3、4位決定戦でオーストラリアに僅かに及ばずの4位でした。

今後、日本チームが単発ではなくコンスタントに世界の強豪相手に戦って行く為に、やらなくてはいけない事は、たくさんあると思います。また今回とても優秀なスタッフのきびきびとした仕事ぶりに感激しました。本当に貴重な素晴らしい経験をさせて頂きありがとうございました。 (齋藤 克宣)



[競技結果]

(4/11-13 南アフリカ・ケープタウン)

男子1kmタイムトライアル

1	HOY Chris	GBR	1:03.302
2	NIMKE Stefan	GER	1:04.623
3	KELLY Shane	AUS	1:04.736
9	井上 昌己	JPN	1:06.206

男子スプリント

1	BOURGAIN Mickael	FRA	
2	JERABEK Janoslav	SVK	
3	VAN EIJDEN Jan	GER	
6	金子 貴志	JPN	
	矢口啓一郎	JPN	敗復敗退

男子ケイリン

1	ESQUIRE RAMONDES Jose	ESP	
2	BENJAMIN Martin	NED	
3	BAZALIK Peter	SVK	
	中川誠一郎	JPN	1回戦敗退敗退

男子スラック

1	AESCHBACH Alexander	SUI	
2	VAN ZYL Jean-Pierre	RSA	
3	STRAATHOF Jeroen	NED	
	飯島 誠	JPN	DNF

男子チームスプリント

1	GBR	45.570
2	GER	45.861
3	AUS	46.409
4	JPN (金子・矢口・井上)	46.470

吸汗速乾性に優れた機能素材を使用した半袖フルオープン・ジャージが、1色でも36色使っても変わらない118,000円(希望上代)/着から作れる。しかも前後身頃や左右の袖のデザインも、価格に影響なく変えられる。それが「システムU」。

しかも個人の名前を入れることも出来る(オプション価格)ので、ジャージのデザインだけでなく、個人個人の個性も出せるシステム。

2003年、チームウェアを頼むなら「システムU」しかない。

50日で届く!
5着から作れる!
36色全て使える!

株式会社パールイズミ 〒130-0026 東京都墨田区両国2-4-2

<http://www.pearlizumi.co.jp> オンラインショップ <http://shop.goo.ne.jp/store/ip-pearl>

*見積り依頼等、詳しくは弊社特品課(電話03-3633-5461、E-mail:custom@pearlizumi.co.jp)までお問い合わせください。



第50回全日本プロ選手権トラックレース



ケイリン決勝 最終周第4コーナー

1位 ②172
吉岡稔真

3位 ⑥39 小橋正義

2位 ①84 山田裕仁

4位 ④86 山口幸二



スプリント優勝の金子



外国招待選手によるスプリント交歓競技
左:ジョビー・ダイカ、右:アイナルス・キクス



エキシビションの身障者タンデムスプリント

[競技結果]

1kmタイムトライアル

- 1 荒井 崇博 佐賀 九州地区 1:04.541
- 2 伏見 俊昭 福島 北日本地区 1:04.957
- 3 稲村 成浩 群馬 関東地区 1:05.500
- 4 濱田 浩司 愛媛 四国地区 1:06.031
- 5 村上 義弘 京都 近畿地区 1:06.340
- 6 新田 康仁 静岡 南関東地区 1:06.749

スプリント

- 1 金子 貴志 愛知 中部地区
- 2 前反祐一郎 広島 中国地区
- 3 稲垣 裕之 京都 近畿地区
- 4 伊勢崎彰大 千葉 南関東地区

4km個人追抜競走

- 1 内田 慶 栃木 関東地区 4:37.627
- 2 飯島 規之 埼玉 関東地区 4:47.287
- 3 佐々木孝司 青森 北日本地区 4:56.672
- 4 久保田奉文 福井 近畿地区 4:58.745
- 5 原田 和明 千葉 南関東地区 5:00.721
- 6 河崎 恵治 京都 近畿地区 5:05.602

ケイリン

- 1 吉岡 稔真 福岡 九州地区
- 2 山田 裕仁 岐阜 中部地区
- 3 小橋 正義 新潟 関東地区
- 4 山口 幸二 岐阜 中部地区
- 5 松本 整 京都 近畿地区
- 6 高木 隆弘 神奈川 南関東地区

ポイントレース

- 1 山中 猛 沖縄 九州地区 15 p
- 2 大塚 英伸 静岡 南関東地区 14 p
- 3 舩井 幹雄 三重 中部地区 14 p
- 4 鰐淵 正利 愛知 中部地区 13 p
- 5 白木 正彦 宮城 北日本地区 11 p
- 6 内藤 宣彦 秋田 北日本地区 10 p

チームスプリント

- 1 関東地区 稲村・小林・兵藤 1:16.308
- 2 四国地区 渡部・宇根・曾我部 1:18.868
- 3 中国地区 内村・白井・隅 1:17.303
- 4 中部地区 島野・渡会・富永 1:17.323
- 5 南関東地区 森下・中村・石井 1:18.189
- 6 九州地区 田川・島田・松本 1:18.345

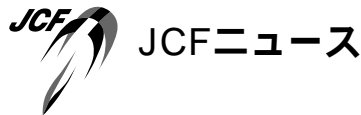
4km団体追抜競走

- 1 近畿地区 桑野・久米・岩崎・山岸 4:39.636
- 2 南関東地区 遠澤・梶山・川越・畠山 4:42.643
- 3 中部地区 坂上・北野・坂上・北野 4:41.132
- 4 四国地区 馬場・宮本・近藤・竹本 4:43.181
- 5 関東地区 笹川・中山・田村・阿部 4:43.896
- 6 九州地区 渡邊・大塚・安東・加藤 4:44.623

団体成績

- 1 中部地区 40 p
- 2 関東地区 39 p
- 3 南関東地区 36 p
- 4 近畿地区 34 p
- 5 九州地区 31 p
- 6 中国地区 26 p





ヘルメットの新規公認

公認番号	公認日付	公認申請社	製造社	形式名	公認条件
41-181	2003/4/8(更新)	(株)エーヴィーエックス	CAMAU SYSTEM	R3100 Sierra nevada	バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー シクロクロスにおいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。 バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー シクロクロスにおいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。 バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー シクロクロスにおいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。
41-186	2003/4/8(更新)	(株)エーヴィーエックス	CAMAU SYSTEM	R3200 Gold	
41-187	2003/4/8(更新)	(株)エーヴィーエックス	CAMAU SYSTEM	R3300 Frizz	
20-166	2003/4/10(更新)	(株)深谷産業	SELEV S.A.S.	ALIEN(エイリアン)	バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー シクロクロスにおいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。 バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー シクロクロスにおいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。 バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー シクロクロスにおいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。
20-179	2003/4/10(更新)	(株)深谷産業	SELEV S.A.S.	ATOM(アトム)	
20-209	2003/4/10(新規)	(株)深谷産業	SELEV S.A.S.	FELIX(フェリックス)	
20-210	2003/4/10(新規)	(株)深谷産業	SELEV S.A.S.	EGO(エゴ)	
34-195	2003/4/11(更新)	オージーケー販売(株)	ストラテックスポーツ(株)	アレクレス	
7-199	2003/4/22(更新)	山本光学(株)	ジロ	E2(イーツー)	
7-200	2003/4/22(更新)	山本光学(株)	ジロ	ECLIPSE(エクリプス)	
7-201	2003/4/22(更新)	山本光学(株)	ジロ	PNEUMO(ニューモ)	
7-204	2003/4/22(更新)	山本光学(株)	ジロ	ENCINAL(エンシナル)	
7-205	2003/4/22(更新)	山本光学(株)	ジロ	TRANSIT(トランジット)	
7-206	2003/4/22(更新)	山本光学(株)	ジロ	ATLAS(アトラス)	
7-207	2003/4/22(更新)	山本光学(株)	ジロ	HAVOC(ハボック)	
7-208	2003/4/22(更新)	山本光学(株)	ジロ	ANIMAS(アニマス)	
7-211	2003/4/22(新規)	山本光学(株)	ジロ	TORRENT(トレント)	
26-212	2003/4/22(新規)	三井物産ロシニョール(株)	BRIKO	SOLO	

(株)エーヴィーエックス	〒150-0036	東京都渋谷区南平台町15-10 MAC渋谷ビル8F	03-3462-1991
(株)深谷産業	〒460-0015	愛知県名古屋市中区大井町1-38	052-321-6571
オージーケー販売(株)	〒577-0037	大阪府東大阪市御厨西ノ町2-1-3	06-6783-5906
山本光学(株)	〒577-0056	大阪府東大阪市長堂3-25-8	06-6783-1109
三井物産ロシニョール(株)	〒102-0075	東京都千代田区三番町28 秀和三番町ビル7F	03-5275-8421



競技に使用する車輪の規則

下記の情報にご注意ください。

シクロクロス委員会の提案に基づきUCI理事会は第1.3.018条に述べられる車輪の規則をシクロクロスに拡張することを決定した:《自転車の車輪は、タイヤも含めて最大70cmから最小55cmのあらゆる寸法を採用できる。シクロクロス用自転車ではタイヤの最大幅は35mmとし、またいかなる形式でもスパイクやスタッドを組み込んではならない。集団スタートのロード・レースにおいてはUCIの事前承認を得た車輪のみ使用できる。車輪は最少12本のスポークを持つ:それらの断面寸法が10mmを超えない限り、スポークは丸、扁平もしくは楕円であってよい。承認を得るためには、UCI認可の研究所においてUCIが規定した破壊検査に、合格しなければならない。試験結果は、車輪の通常使用時の衝撃による結果と矛盾しない破壊特性が得られなければならない。次の基準は満たされなければならない:

衝撃により、車輪の構成材が分離したり外へ飛び出したりしてはならない。

破端は、破片を生じたり、あるいは、鋭利または鋸歯状の破面が使用者、他の競技者および/または観客を傷つけることがあってはならない。

破壊特性は、ハブがリムから外れてしまったり、車輪がフォークから外れるような原因となってはならない。

法、規則あるいは慣例により課せられる検査を損なわない限り、標準(伝統的)車輪は上記の破壊検査を免除される。伝統的車輪とは、最小16本の金属スポークを持つものとみなされる。スポークは断面寸法が2.4mmを超えない円、扁平または楕円断面で、リムはその断面において各面の間隔が2.5cmを超えないものとする。この規則は次の2003-2004年シーズン(2003年9月1日)から発効する。管理はロード・レースで行われると同様の厳しさでなされるという事実には注意されたい。認可された車輪のリストはUCIウェブサイトにて見ることができる。

第3回全日本実業団トラック記録会

ケイリン決勝 最終周第4コーナー



3位 朝倉佳弘

2位 鈴木英介

1位 西尾孝政

500mTT優勝の篠崎



3kmTT優勝の青木



団体追抜優勝の愛三工業



1kmTT優勝の在本



[競技結果]

(4/13 日本CSC・250mトラック)

男子1kmタイムトライアル

- 1 在本 直樹 三菱化学物流 1:06.101
2 細沼 健二 バイタル'90 1:08.835
3 丹沢 秀樹 スミタバ'和ハール 1:11.052
4 木村 圭吾 バイタル'90 1:11.053
5 山崎 潤 チームBMLレーシング 1:11.116
6 浦門 義人 JOA-LASレーシング 1:11.477

男子スプリント

- 1 大沢 雄大 バイタル'90
2 小田倉勇二 日本シャクリ
3 鈴木 英介 マット'ローチアリアケ
4 朝倉 佳弘 バイタル'90
5 山口 勲 バイニッセルレーシング
6 奥平 充男 岩井商会サイクルクラブ

男子4km個人追抜競走

- 1 坂口 博 愛三工業レーシング 4:53.237
2 吉井 功治 JOA-LASレーシング 4:59.585
3 西谷 泰治 愛三工業レーシング 5:01.187
4 浦門 義人 JOA-LASレーシング 5:01.833
5 三木 哲也 サイクルクラブ FET 5:03.073
6 楠本 正昭 愛三工業レーシング 5:08.135

男子ケイリン

- 1 西尾 孝政 デュボロ
2 鈴木 英介 マット'ローチアリアケ
3 朝倉 佳弘 バイタル'90
4 吉田 康則 三菱化学物流レーシングクラブ
5 沢口 賢太 バイタル'90
6 高橋 仁 チェア'ロビスタ

男子ポイントレース

- 1 西谷 泰治 愛三工業レーシングチーム 25 p
2 楠本 正昭 愛三工業レーシングチーム 17 p
3 三木 哲也 サイクルクラブ FETアックス 8 p
4 吉井 功治 JOA-LASレーシングチーム 7 p
5 坂口 博 愛三工業レーシングチーム 5 p
6 郡山 善貴 愛三工業レーシングチーム 3 p

男子チームスプリント

- 1 三菱化学物流 吉田・在本・藤原 50.906
2 バイタル'90 B 沢口・朝倉・細沼 52.274
3 バイタル'90 A 小川・木村・大沢 53.254
4 けんしん 仲松・喜納 喜納 53.885

男子4km団体追抜競走

- 1 愛三工業 坂口・楠本・郡山・西谷 4:36.484
2 JOA-LAS 吉井・工藤・浦門・柳沢 4:44.177
3 ミタハール 中川・行成・綾部・石田 4:53.336
4 三菱化学物流 藤原・緒方・中川・在本 5:12.474
5 バイタル'90 郡山・岡部・上田 5:24.761

女子500mタイムトライアル

- 1 篠崎 新純 ヘルノA&Tヤマダ 38.500
2 岡 希美 ハープレーシング 39.789
3 濱田 真子 スミタバ'和ハール'ミ 41.647
4 三井 由香 ヘルノA&Tヤマダ 42.336
5 青木千江子 ハープレーシング 42.469
6 飯田 香里 チェア'ロビスタ 42.478

女子3km個人追抜競走

- 1 青木千江子 ハープレーシング 4:25.399
2 濱田 真子 スミタバ'和ハール 4:34.127
3 中山 朋子 スミタバ'和ハール 4:38.599
4 飯田 香里 チェア'ロビスタ 4:41.370



競技大会 結果

チーム名等については略して記載

第5回3DAY CYCLE ROAD 熊野 (4/18-20 紀南地区)

第1ステージ A 4/18 (2.9km)

- 1 坂口 博 愛知 愛三工業 3:50.79
2 今西 尚志 JPCA バイレーシング 3:51.37
3 柿沼 章 JPCA CCDクラブ 3:56.80
4 鈴木 真理 JPCA バイレーシング 3:57.34
5 田中 光輝 愛知 愛三工業 3:58.25
6 三浦 恭資 JPCA CCDクラブ 3:58.81
7 大内 薫 JPCA 下北山B.C. 3:59.34
8 山本 雅道 JPCA 下北山B.C. 3:59.57
9 西谷 泰治 愛知 愛三工業 4:00.14
10 西村 拓也 京都 カガ'ガス 4:02.39

第1ステージ B 4/18 (8.7km)

- 1 鈴木 真理 JPCA バイレーシング 2:01:43
2 西谷 泰治 愛知 愛三工業 2:01:43
3 中川康二郎 茨城 ミタハール 2:01:43
4 日置 大介 兵庫 CCDクラブ 2:01:43
5 長野 耕治 愛媛 NEX Bianchi 2:01:47
6 三船 雅彦 JPCA ミタハール 2:01:52
7 流郷 克哉 東京 YOUCAN 2:01:52
8 鉄沢 孝一 石川 チェア'ロビスタ 2:01:52
9 田中 光輝 愛知 愛三工業 2:01:52
10 田中 泰治 北海道 YOUCAN 2:01:52

第2ステージ 4/19 (111.5km)

- 1 狩野 智也 JPCA バイレーシング 2:54:46
2 柿沼 章 JPCA CCDクラブ 2:54:48
3 三浦 恭資 JPCA CCDクラブ 2:54:48
4 鈴木 真理 JPCA バイレーシング 2:54:48
5 中川康二郎 茨城 ミタハール 2:54:48
6 阿部 良之 JPCA バイレーシング 2:54:51
7 今西 尚志 JPCA バイレーシング 2:54:53
8 田中 光輝 愛知 愛三工業 2:56:31
9 真鍋 和幸 JPCA ミタハール 2:56:31
10 流郷 克哉 東京 YOUCAN 2:56:36

第3ステージ 4/20 (96.5km)

- 1 西谷 泰治 愛知 愛三工業 2:36:30
2 大内 薫 JPCA 下北山B.C. 2:36:30
3 和野内公次 大阪 カガ'ガス 2:36:37
4 坂口 博 愛知 愛三工業 2:36:46
5 中川康二郎 茨城 ミタハール 2:36:46
6 今西 尚志 JPCA バイレーシング 2:36:46
7 田中 光輝 愛知 愛三工業 2:36:46
8 長野 耕治 愛媛 NEX Bianchi 2:36:46
9 真鍋 和幸 JPCA ミタハール 2:36:46
10 二戸 康寛 東京 なるしま 2:36:46

個人総合時間

- 1 鈴木 真理 JPCA バイ 7:37:07.34
2 柿沼 章 JPCA CCDクラブ 7:37:18.80
3 中川康二郎 茨城 ミタハール 7:37:20.24
4 今西 尚志 JPCA バイ 7:37:20.37

- 5 狩野 智也 JPCA バイ 7:37:20.43
6 三浦 恭資 JPCA CCDクラブ 7:37:22.81
7 阿部 良之 JPCA バイ 7:37:32.04
8 田中 光輝 愛知 愛三工業 7:39:07.25
9 真鍋 和幸 JPCA ミタハール 7:39:17.68
10 流郷 克哉 東京 YOUCAN 7:39:20.39

団体時間総合

- 1 バイレーシング 22:52:00
2 CCDクラブ'バイレーシング 22:59:08
3 愛三工業レーシングチーム 23:07:28
4 下北山BLACK CHERRY 23:17:29

個人ポイント賞

- 1 中川康二郎 茨城 ミタハール 28 p
2 西谷 泰治 愛知 愛三工業 25 p
3 鈴木 真理 JPCA バイレーシング 19 p

個人山岳賞

- 1 狩野 智也 JPCA バイレーシング 22 p
2 柿沼 章 JPCA CCDクラブ 17 p
3 今西 尚志 JPCA バイレーシング 10 p

第5回全日本学生選手権ケイリン

(4/29 滋賀・立命館大学びわこキャンパス)

男子(42km)

- 1 辻 貴光 立命館大学 31 p
2 池田 丈志 鹿屋体育大学 16 p
3 向川 訓司 中京大学 12 p
4 明珍多久雄 日本大学 10 p
5 盛 一大 日本大学 10 p
6 土井 雪広 法政大学 7 p
7 天沼 雅貴 鹿屋体育大学 7 p
8 三浦 勇一 中京大学 7 p
9 山本 敬純 立命館大学 5 p
10 辻 龍一 京都産業大学 4 p

女子(14.7km)

- 1 大森 智子 ZippyクラブRC 23:03.9
2 豊岡 英子 RED ANGELS 23:05.7
3 坂田 佳子 TEAM POLPO 23:05.9
4 加藤 紀衣 PCサイクルクラブ 松本 23:07.2
5 許斐真由子 鹿屋体育大学 23:08.4
6 梅野 敦子 同志社大学 23:32.2
7 小野 翔子 明治大学 24:05.0
8 玉城 さち 鹿屋体育大学 25:18.4

第43回東日本学生選手権

(5/4 神奈川・花月園競輪場)

男子1kmタイムトライアル

- 1 竹沢 浩司 日本大学 富山 1:08.629
2 吉田 将成 日本大学 岐阜 1:10.083
3 川崎 大慈 順天堂大 熊本 1:10.451
4 前田 吉昭 日本大学 石川 1:10.453
5 川村 崇 早稲田大 東京 1:11.140
6 高森 旭二 明治大学 神奈川 1:11.505

男子スプリント

- 1 櫻山新太郎 日本大学 福岡
2 朝倉 佳弘 放送大学 東京
3 丸尾 哲司 順天堂大 千葉
4 福山 健太 法政大学 鹿児島
5 花澤 純二 明治大学 千葉
6 齋藤 英成 立教大学 東京

男子4km個人追抜競走

- 1 黒木 裕介 法政大学 宮崎 4:53.129
2 石田 宏樹 法政大学 青森 4:59.998
3 明珍 周兵 法政大学 福島 4:57.639

- 4 伊藤 太一 日本大学 山梨 4:58.738
- 5 大野 涼太 中央大学 青森 5:00.545
- 6 蛭名 洋平 東北学院 青森 5:05.393

男子ケイリン

- 1 柴崎 俊光 中央大学 三重
- 2 荻原 和文 法政大学 群馬
- 3 菊地 隼人 日本大学 栃木
- 4 篠原 忍 中央大学 群馬
- 5 桜井 太士 中央大学 鳥取
- 6 盛 真徳 明治大学 茨城

男子ホィトルス

- 1 柴田 祐也 法政大学 岐阜 33 p
- 2 盛 一大 日本大学 茨城 28 p
- 3 高島 豪 中央大学 埼玉 13 p
- 4 普久原 奨 日本大学 沖縄 12 p
- 5 佐藤 佑一 順天堂大 岩手 10 p
- 6 土井 雪広 法政大学 山形 9 p

男子チームスプリント

- 1 順天堂大学 丸尾・佐藤・佐川 1:20.730
- 2 日本大学 竹沢・櫻山・西村 1:20.877
- 3 法政大学 西村・荻原・福山 1:23.632
- 4 明治大学 中川・高森・花澤 1:24.961
- 5 立教大学 倉部・木下・木村 1:29.433
- 6 日本体育大 成田・田中・深谷 1:30.911

男子4km団体追抜競走

- 1 日本大学 伊藤・明珍・盛・吉田
- 1 法政大学 岡田・佐野・柴田・明珍
- 3 早稲田大学 江口・平林・川村・吉次 4:55.51
- 4 中央大学 三浦・入谷・高島・大野 4:49.04
- 5 明治大学 斉藤・盛・親川・加藤 4:50.900
- 6 東北学院大 田辺・後藤・蛭名・新谷 4:56.795

女子スプリント

- 1 篠崎 新純 明治大学 千葉
- 2 遠山 恵 順天堂大 岩手
- 3 伊東 静香 明治大学 宮城

- 女子500mタイムトライアル
- 1 篠崎 新純 明治大学 千葉 37.902
 - 2 仁藤ひろみ 明治大学 静岡 40.908
 - 3 遠山 恵 順天堂大 岩手 41.048

女子3km個人追抜競走

- 1 青木千江子 前橋育英短期大 4:22.132
- 2 松永 舞美 法政大学 4:22.239
- 3 中村 珠藻 順天堂大学 4:21.319

第22回西日本学生選手権 (5/4 奈良・奈良競輪場)

男子1kmタイムトライアル

- 1 鈴木 幸弘 京都産業大学 1:12.46
- 2 坂本 裕季 立命館大学 1:12.51
- 3 吉川 修司 龍谷大学 1:12.78
- 4 廣瀬 健一 同志社大学 1:14.68
- 5 米田 徹 龍谷大学 1:15.78
- 6 古賀 啓一 京都大学 1:16.84

男子スプリント

- 1 前田 義和 鹿屋体育大学
- 2 小堺 浩二 京都産業大学
- 3 的場 俊輔 桃山学院大学
- 4 廣田 宗隆 鹿屋体育大学
- 5 相原 章吾 北陸大学
- 6 中川 一利 龍谷大学

男子ケイリン

- 1 山我 宗永 北陸大学
- 2 益子 祐介 朝日大学
- 3 大石容支夫 名古屋産業大学
- 4 島田 迅人 大阪経済大学
- 5 藤原 洋平 龍谷大学
- 6 谷川 幸司 立命館大学

男子4km個人追抜競走

- 1 辻 貴光 立命館大学 5:01.42
- 2 辻 龍一 京都産業大学 5:06.64

- 3 山本 敬純 立命館大学 5:09.74
- 4 奥田 雄一 京都産業大学 5:13.93
- 5 荒木 就平 鹿屋体育大学 5:15.11
- 6 矢野 泰弘 大阪経済大学 5:15.26

男子ホィトルス

- 1 池田 丈志 鹿屋体育大学 88 p
- 2 三瀧 光誠 鹿屋体育大学 62 p
- 3 井川 智之 同志社大学 52 p
- 4 天沼 雅貴 鹿屋体育大学 52 p
- 5 中島 康晴 鹿屋体育大学 15 p
- 6 辻 善光 立命館大学 10 p

男子チームスプリント

- 1 北陸大学 1:10.81
- 2 龍谷大学 1:10.97

男子4km団体追抜競走

- 1 鹿屋体育大 荒木・天沼・池田・三瀧 4:40.32
- 2 京都産業大 辻・鈴木・河野・奥田 4:45.40
- 3 立命館大学 坂本・辻・佐々木・辻 4:46.06
- 4 大阪経済大 矢野・島田・河合・稲川 4:56.97
- 5 京都大学 古賀・山本・植村・木下 5:06.52
- 6 中京大学 三浦・葛谷・向川・安田 5:09.06

女子500mタイムトライアル

- 1 遠藤 友子 鹿屋体育大学 38.47
- 2 梅野 敦子 同志社大学 41.17
- 3 玉城 さち 鹿屋体育大学 42.67
- 4 許斐真由子 鹿屋体育大学 44.98

女子スプリント

- 1 遠藤 友子 鹿屋体育大学
- 2 近藤麻由子 同志社大学

女子3km個人追抜競走

- 1 許斐真由子 鹿屋体育大学 4:14.13
- 2 玉城 さち 鹿屋体育大学 4:28.23
- 3 梅野 敦子 同志社大学 4:35.08
- 4 近藤麻由子 同志社大学 5:12.09



2003マウンテンバイク・ジャパンシリーズ開幕

<男子>野口 忍 <女子>南部博子 が優勝



4月20日(日)、2003年のジャパンシリーズ・クロスカンントリー第1戦が熊本県阿蘇郡小国町で開催された。

レースは前日からの雨で悪条件のなか、3時間を越える過酷なレースとなった。男子エリートクラスは野口 忍(京都)が1周目からトップをキープし、逃げ切って優勝。2位は竹谷賢二(千葉)、3位は色川浩樹(茨城)。女子エリートクラスは、南部博子(長野)が優勝。2位は真下正美(神奈川)、3位は田崎 綾(千葉)が入った。



[競技結果]

XC男子エリート(42.0km)

- 1 野口 忍 京都 TREK 3:07:35.44
- 2 竹谷 賢二 千葉 FORD 3:08:29.59
- 3 色川 浩樹 茨城 GIANT 3:16:04.53
- 4 堂城 賢 長野 GaryFisher3:19:16.20
- 5 小笠原崇裕 長野 GaryFisher3:20:47.75
- 6 笹部 勝 大阪 キャノン 3:24:14.64
- 7 辻浦 圭一 長野 ブリヂストン
- 8 山本 和弘 北海道 キャノン
- 9 深谷 幸彦 愛知 TARGET-FONDR
- 10 千田 尚孝 愛知 KHS-自転車村

XC女子エリート(30.0km)

- 1 南部 博子 福岡 TREK 2:07:12.55
- 2 真下 正美 神奈川 SY-Nak 2:20:37.17
- 3 田崎 綾 千葉 2:22:15.30
- 4 中込由香里 長野 team SY-Nak
- 5 高橋いづみ 東京 SY-Nak SPECI
- 6 酒井 真清 大阪 Testach Raci
- 7 榎本 梨絵 岡山 岡山大学
- 8 田近 郁美 岐阜 GOD HILL
- 9 深井 薫 大阪 GARY FISHER
- 10 内田 順子 東京 Club SY-NAK

ACC Track Asia Cup 2003

Final Round Japan 7-8 June

お知らせ

「ACCトラックアジアカップ2003」 延期

「UCIジュニアトラックネイションズカップ2003アジア地区決勝」 中止

さて、本誌シクリスムエコー2003年3月号(96号)にてお知らせしました「ACCトラックアジアカップ2003」は、SARS(重症急性呼吸器症候群)の影響により、止むを得ず延期することとなりましたのでお知らせします。

なお、翌日9日に行われる予定の「UCIジュニアトラックネイションズカップ2003アジア地区決勝」は、本年8月にロシア・モスクワで行われる2003ジュニアトラック世界選手権大会のアジア地区予選に当たりますので、延期ではなく中止とさせていただきますので併せてお知らせします。

トラック・ロード第1級公認審判員の承認について

平成14年度第3回理事会(平成15年3月14日開催)において下記の方が承認されました。

室井 文男(北海道)・鈴木 伸明(宮城)・佐々木弘一(秋田)・山岸 健二(埼玉)
木村 光男(埼玉)・加藤 明人(愛知)・瀧上 幸治(兵庫)・大木本真人(兵庫)



トラック・ロード強化合宿

ロードの強化合宿が3月31日から4月5日、東京の国立スポーツ科学センターと静岡のサイクルスポーツセンターで行われた。

実施内容はメディカル、フィッtnessチェック及びロードトレーニングだったが、最終日は天候が悪かったため、競輪学校でのロードトレーニングに変更された。

[参加選手]

大塚 歩・中村珠藻
高島 豪・土井雪広
森 良・島田真琴
畑中勇介



一方、トラックの短距離合宿は福島県泉崎の国際競技場において4月20日から24日まで行われた。

[参加選手]

永井 清史・北津留 翼
太刀川麻也・遠藤 友子
大菅小百合・篠崎 新純



加盟団体事務局の変更について

宮崎県自転車競技連盟

〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町樺山3260 下村 守 方
TEL: 0986-51-2261 FAX: 0986-51-2271

鳥取県自転車競技連盟

〒680-0941 鳥取県鳥取市湖山町北3-250 鳥取湖陵高校内 岡田 方
TEL: 0857-28-0250 FAX: 0857-28-0105

岐阜県自転車競技連盟

〒502-0859 岐阜県岐阜市城田寺684-26 戴下 基 方
TEL/FAX: 058-233-0849

石川県自転車競技連盟

FAX番号変更 076-286-6280

福岡県自転車競技連盟

FAX番号変更 0942-22-1239

沖縄県自転車競技連盟

TEL番号変更 098-862-0404

全国高体連自転車競技専門部

TEL番号変更 090-4226-3251

連盟の動き (3月下旬～5月中旬)

- 3月17日 文部科学省スポーツコーチサミット 於: JISS
19日 マウンテンバイク強化合宿 於: 静岡・CSC、競輪学校(～21日)
第2回自転車月間推進協議会総会 於: 東京・自転車会館
JOC 総務委員会 於: 東京・岸記念体育会館
20日 JOC 強化本部会 於: 東京・岸記念体育会館
24日 文部科学省国際大会優秀選手賞授賞式
ジャパンカップ推進委員会、実行委員会 於: 宇都宮
日体協マスターズ委員会 於: 東京・岸記念体育会館
25日 日体協評議員会 於: 東京・岸記念体育会館
26日 JOC 評議員会 於: 東京・岸記念体育会館
日体協公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会合同研究会 於: 東京・ホテル海洋
27日 第2回評議員会
31日 ロード長距離強化合宿 於: JISS、日本CSC(～4/5)
4月 1日 公認会計士実査
3日 臨時理事会
4日 平成15年度公益補助金内定伝達式 於: 東京・新霞ヶ関ビル
7日 トラックワールド・カップ#3選手団出発 於: 南アフリカ・ケープタウン(帰国 4/16)
15日 日体協平成15年度事務局長会議 於: 東京・岸記念体育会館
18日 日体協全国スポーツ指導者連絡会議 於: 東京・岸記念体育会館
20日 トラック短距離強化合宿 於: 福島・泉崎(～24日)
23日 第1回常務理事会、第1回強化本部会、第1回理事会
24日 アジアMTB大会実行委員会 於: 青森
5月13日 トラックワールド・カップ#4選手団出発 於: オーストラリア(帰国 5/19)
第1回広報委員会・広報部会

(財)日本自転車競技連盟
事務局の人事異動について

平成15年4月1日付

選手強化部 部長

名畑 陽二 林 富士夫

選手強化部選手強化課 第一課長

齋藤晃一郎 関口 美裕

選手強化部選手強化課 第二課長

木内 浩成 三澤 義彦

業務部競技課 係員 兼
選手強化部選手強化課 係員

山田 克彦

特命参事を解く

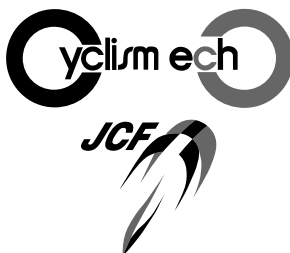
板鼻 昭

編集後記

JCFは、寄付行為で定める2年に一度の役員改選も所定の手続きを終え、新体制で日本の自転車競技の発展と競技力向上に邁進することになりました。

そんな矢先、「SARS」がスポーツ界も震撼させ、国内における各種国際大会の中止、延期が現実のものとなり、また、アジア地域での国際大会の開催も危惧されている現状です。

この号は、4月～5月の合併号としてお届けいたします。以後の発刊に関しましては、各界階層からのご意見、情報を頂きながらより良い連盟機関誌として皆様にお届けする所存ですので宜しくお願い致します。(加藤 昭)



シクリスムエコー No.97 2003年4・5月号

発行/財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/岩 楯 昭 一

編集人/加 藤 昭

編集事務局/財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL <http://www.jcf.or.jp/>